



技術継承が難しかった若手社員を育成し 国内唯一の精密ヤスリのブランド力磨く

女性の感性と直観力で老舗メーカーに新風を吹き込む……

広島鑢製造所

1937(昭和12)年創業の(株)広島鑢製造所は、国内唯一の精密ヤスリメーカーとして工業用やギター専用など匠の技をもつ職人的技術者に信頼のブランドを築いている。国内90%超のヤスリを出荷する広島県呉市仁方にヤスリ工業団地内の本社に、次々と業界に新風を吹き込む3代目・中洲紀子社長を訪ねた。



中洲紀子社長

2007年4月に就任し、翌年秋から中洲社長に試練が襲った。リーマン・ショックによる受注の急減と、それによる風評を伴った同業企業の類似品問題である。受注減は、過去の蓄積もあり経営への打撃は少なかつたが、精密ヤスリの材料である特注鋼材の確保が心配でした。そのため、取立てその取引先に通常どおりの発注を続けたほど。類似品問題は、私の社長就任が引き金になったと考え、弁護士を立て正式に商標権を取

得し、法的な解決を図りました」と、中洲社長は振り返る。

俗に偽物が出てこそ真の本物といわれる。祖父・秀夫氏から父・隆生氏と80年あまりの歴史で培われた国内で約95%のシェアをもつ精密ヤスリの技術は、2代目が海外の加工機械を輸入し、それを同社の仕様でカスタマイズして独自の機械に仕立てたことに始ま



同社の精密ヤスリと信頼のブランド「魚地球印」

る。それに各工程で伝承の技術をもつ職人的社員が手作業で仕上げ、「基本的な手づくりの精密ヤスリ」(同社長が同社の真骨頂である。国内の工場などで匠の技をもつ職人的な顧客に、同社の「魚地球印」は信頼のブランドとして不可欠の工具となっている。

中洲社長就任時の経営課題は、「工程の過半近くを占める手作業で1本1本加工する熟練の社員がすべて60代以上で、先代も半ばサジを投げた若手社員への技術の継承」だった。商標権取得後に新卒採用を始め、さらに職人的な技術の継承を阻む人材を意識的に排除し、「若手が育つ職場環境(同)を整える。その結果、新卒と20〜30代の女性を中心に採用しながら伝承の技術を教え、現在では技術者の過半を女性が占め平均年齢が一気に20歳以上も若返った。

ギターヤスリと爪ヤスリを開発

こうした老舗メーカーの経営改革と同時に、女性社長ならではの「新製品開発にも力を入れた。同社



整体師や着物作家向け爪ヤスリ『しなやか』(新製品)

は星野楽器(株)(本社・名古屋)の依頼により、世界的なギターブランド「Danelectro(アイバニーズ)」の弦の溝を削る「ギターヤスリ」を三十数年前に製品化。そこで前述の類似品対策もあり、バイオリン等あらゆる弦楽器にも対応できるようにラインアップを5倍の40品目に増やした。「最近では世界で唯一の専用ヤスリとして海外の弦楽器メーカーにも輸出が増えている」と(同)と語る。さらに、「ベテランの整体師から「良い爪ヤスリがない」と聞き、京都の着物作家も愛用するプロ仕様の「爪ヤスリ」を開発。この春からネット販売を始めた。工業用や2つの新製品もすべて先代が開発し先鞭をつけた製品だが、それを工業用は若手社員を育成し技術力を磨き、新製品は女性の視点で新たな価値と技術をブラッシュアップし、旧弊に傾きがちなヤスリ業界に次々と新風を吹き込んできた。今後も仁方からどんな風が吹くか注目される。